

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

税理士法人 優和

# 経営者への活きた言葉

TEL 03-3455-6666  
FAX 03-3455-7777

## 経営者への活きた言葉

### 組織のトップに求められる「筋を通す」姿勢

野口 悠紀雄（早稲田大学ビジネスファイナンス研究センター顧問）

1. 何が正しく何が誤りであるかという正邪の判断は、社会の基本をなすものだ。それは法律以前の判断である。その判断が法律の規定を指導していくのである。法律に書かれているから正だということではない。よく「筋を通す」とか、「筋が通らない」といわれる。これも同じようなことだ。それは、法律に照らして正しいかどうかではなく、基本的な倫理観に照らして認められるかどうかということだ。
2. 日本の金融改革が中途半端になってしまったのは、責任を取る地位にある人が筋を通さなかったからだ。組織のトップが筋を通さなければ、組織は絶対的な権力者とイエスマンの集まりになる。日産自動車に関する報道を見ていると、この会社は、あるときからそのような状態に陥っていたと考えざるを得ない。
3. 社会の緩やかな崩壊は、最も恐ろしい病だ。気が付かないうちに社会が変わってしまう。今の日本は、そのような状態に向かって漂流を続けているようにしか見えない。平成の時代は、日本人の正邪に対する判断力が低下を続けた時代だった。

（参考：「週刊ダイヤモンド」2019年1月26号）

## 経営者のための営業学

### 一貫生産だから高効率（村田製作所）

1. 機能性セラミックスを用いた電子部品などを手掛ける村田製作所。同社の営業利益率は2019年3月期見込みで17%と、2桁も出せば優良企業といわれる製造業の中でも、ダントツの強さを見せつける。そのカギを握るのが素材の選定・調整から自社で手掛ける「一貫生産」だ。耐熱性が高く、ガスを透過しないなど、特異な性質が重宝され、耐熱性が求められる自動車向けなどで今、需要が伸びている。
2. 特異な性質を持つだけに、扱うのも簡単ではない。実は、素材選びから自社でやる理由もここにある。原材料から製品を完成させるまでの全工程を一貫して自社で賄うことで、効率化を突き詰めているのだ。

（参考：「日経ビジネス」2019年1月28日号）

## 人事・労務について

### 高度外国人材の活用法

1. 昨年12月成立の改正出入国管理法の下、政府は5年間で計34万5000人の外国人（高度外国人材）の受け入れを見込む。高度外国人材とは、「経済成長や新たな需要と雇用の創造に資することが期待される高度な能力や資質を有する外国人」を指す。
2. このような人材を企業が活用するメリットは次の四つである。①優秀な外国人の考え方や知識を取り入れて、別の視点から会社のあり方を見直すことができる。②日本人スタッフの外国語が向上し、海外からの顧客への対応も可能になる。③海外の流行を、各国出身社員を通じいち早く入手できる。④法人向け、個人向けとも、海外に販売網を拡大できる。

（参考：週刊東洋経済 2019年2月9日号）

## 古典に学ぶ

### 偉い人<sup>まつた</sup>と完<sup>まつた</sup>き人

（解説）偉い人は人間の具有すべき一切の性格に、たとえ欠陥があるとしても、その欠陥を補って余りあるだけ他に超絶した点のある人で、完全なる人に比すれば、言わば変態である。それに反して完<sup>まつた</sup>き人は、智情意の三者が円満に具足した者、すなわち常識の人である。

（参考：渋沢栄一「論語と算盤」：国書刊行会）